



札幌市立きくすいもとまち幼稚園
令和4年8月22日

ひきつづき 登園時健康調査に御協力ください

登園前健康チェック表にお子さんの体温や体調の記録をお願いします。熱があるときや咳や鼻水など風邪症状、体調が思わしくないときには無理をさせず、お休みください。感染症のおそれがある場合は受診をお勧めします。医師の判断や、幼稚園で元気に外遊び・水遊びができるかどうかを目安に登園の判断をお願いします。また新型コロナウイルス感染症の流行期である現在は、子ども本人だけでなく、同居している方に発熱等の風邪症状がみられる場合、出席停止となります。

飲み薬の扱いについて

幼稚園ではお子さんのお薬をお預かりすることができません。第三者である幼稚園教諭や養護教諭、預かり保育士がお子さんに薬を飲ませることは法律で禁止されています。また、「子ども自身で飲めるから薬を持たせる」ことも、他の園児が誤飲するなどのおそれがありますので、避けてください。御協力、よろしくお願いします。

昼食後にも服用するよう処方されている場合、いずれかの対応をお願いします。

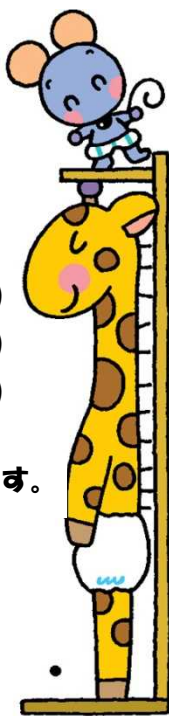
- ◇ 医師に朝・夕2回の処方をお願いします。
- ◇ 保護者の方が弁当後に来園し、お子さんに薬を服用させる
- ◇ 降園後、自宅で薬を服用する。



発育測定を行います。

さくら組 8月23日(火)
すみれ組 24日(水)
たんぽぽ組 24日(水)

※欠席された方は、後日行います。



スムーズに 発育測定を行うために…

- ① 服装は脱ぎ着しやすいものを着用してください。
- ② 衣服（下着や靴下にも）には必ず記名してください。
- ③ 前日は入浴し、身体を清潔にしてください。
- ④ 髪の毛の長いお子さんは、頭の上や後ろで髪を束ねないようにしてください（おだんごやポニーテールは、身長が正確に測れません）。

★夏は暑さ等のため、体重の増加が少ないことや、減少することもあります。

夏に多くみられる感染症

咽頭結膜熱

主に高熱、のどの痛み、目の充血などの症状が見られます。

「プール熱」とも呼ばれていますが、プールの水は塩素できちんと消毒されていれば感染の問題はありません。

実際には飛沫感染や接触感染が多いです。

予防法としては、タオルの貸し借りはしないこと、手洗い・うがいをしっかり行うことなどが大切です。なお、咽頭結膜熱にかかったら、主な症状が消えた後、2日を経過するまでは、幼稚園・学校は出席停止です。



流行性角結膜炎

「はやり目」とも呼ばれている、アデノウイルスが原因の感染症です。目の充血、まぶたの腫れ、目がゴロゴロする、目ヤニや涙が出る

などの症状が見られます。手を介した接触感染が主なので、予防するには「手洗い」が大切です。また、タオルに付いたウイルスからも感染するため、患者とはタオルを共有しないでください。流行性角結膜炎は感染力がとても強く、医師が感染のおそれがないと判断するまで幼稚園・学校は出席停止です。



手足口病

札幌市で流行中

口の中、手のひら、足の裏や甲などに水ぶくれのような発疹ができる夏かぜの一つです。飛沫感染や、ウイルスの付いた手を介して接触感染をしますが、便の中にもウイルスが排泄されるので、とくにトイレの後しっかりと手を洗う習慣を、日頃からつけておくことも大切です。

なお、口の中の発疹のせいで痛みがあるときは、刺激の少ないやわらかいものを食べましょう。水分もきちんと摂るようにしてください。



ヘルパンギーナ

札幌市で流行中

代表的な夏かぜの一つで、突然の高熱と口の中（奥の方）やのどに水ぶくれができるのが特徴です

（手足口病と違って、ヘルパンギーナでは手や足には水ぶくれはみられません）。やがて水ぶくれがつぶれて痛くなるため、食べたり飲んだりすることがつらくなりますが、脱水状態にならないようしっかりと水分を取りましょう。他の感染症と同様、ヘルパンギーナの予防にも手洗いが重要になります。



※札幌市では、上記の感染症はすべて出席停止となります。罹った場合は、幼稚園に連絡をお願いします。